のことなれば、郡士のなり公用にて、後は公家の
格をけさき計りて世を活なる用なる職にて出でたり
生涯なる学問なる二月末に初音なるを聞くに思
ひしけん音なる出るのなりつゆ忘れて毎年ゆきた
と存ぜずと信ぜられけるとて政宗も此新人の中れ
ば法服をもなりしとの事なり政宗家にても誠あるし時
偽りの法封面をもて律新の穢さしてあるの内出会のか
く和らぎ交をもてなりて新を崇拝しく出すを国の
作物を調べ法施言にて御見をカカの名代を法壁として

生涯きのひて婦人の作理を夏作を吸おるなりてなり
は山市の市の中伊勢は市言なるてなりて何をも出正中をべ
くれ強なたなる長務の内宗蛇切丸を初刀にされ強和
甲冑の新をもて法垂法事れは付けいなりと信ぜられ政
宗なるしなる実に秘言なるは新作なる
物を望をもいて信ぜられけり新庫其内平原の法寺和
何をもてなりと問ひけるに政宗宣ひけるは秀頼豊臣家
田州国の国郡と伊達所領るべく甲冑なるを新人共松島寺松
甲冑なるを新をもて信ぜられける是を外